

公民館訪問NEWS

福島県教育庁南会津教育事務所 総務社会教育課

Ⅰ 只見町 只見・朝日・明和振興センター

7月7日(水)に只見町の公民館訪問を実施しました。統括振興センター長(朝日・明和兼務)只見振興センター長より、本年度の事業を紹介していただきました。

只見町の取組の特色は、各振興センターの講座に加え、地域グループによる事業を展開している点です。只見、朝日地区はそれぞれ『地域づくり委員会』、明和地区は『自治振興会』が事業を主催または共催し、地域づくりや親交を図っています。



川遊び&イワナつかみ体験 (R2)
[朝日地区地域づくり委員会]

恒例のイワナつかみは、南会津ならではの体験です。郷土の黒谷川での活動はみんな大はしゃぎ!「塩焼き」にして地域の自然を満喫です。



明和公民館まつり(郷土芸能発表) (R2)
[明和自治振興会]

小林早乙女や梁取神楽など、伝統芸能が根付く明和地区。地元の保存会の皆さんによる御指導を受け、公民館まつりでお披露目です。



只見小なんでもチャレンジ隊 (R2)
[只見地区地域づくり委員会]

只見町の伝統文化などについて学ぶ事業。夏のウキウキわいわいフェスタで「お囃子」と「民謡」の披露は5,6年生の見せ場です。

只見町の各地区センターはそれぞれ「振興センター」と名称を変え、地域の学びの場及び地域づくりの拠点として、地域住民の身近な存在として様々な業務を行っています。

住民自治組織と協働で取り組まれる行事や講座は、地域の子供やお年寄りにはなくはないものとなり、文字どおり「地域の拠点」としての役割を果たしています。



只見町キャラクター
ブナリン

2 只見町社会教育研修会

本年度の研修会のテーマは

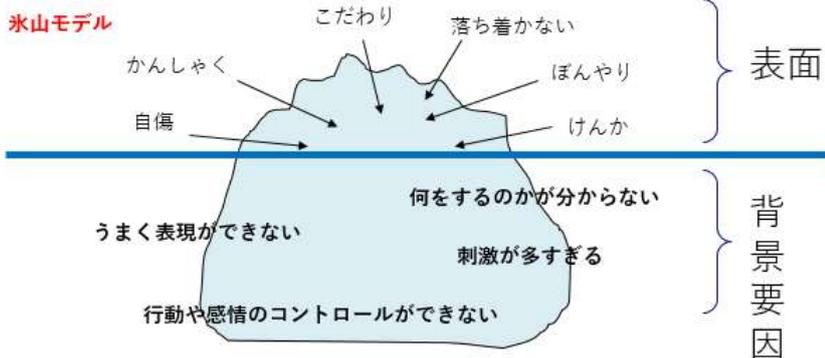
『放課後子ども教室における、配慮が必要な児童への対応』

です。3つの放課後子ども教室の指導員さんが参加し、本事務所の指導主事渡邊朋子による講話と演習を行いました。

皆さん気になる子供の様子と照らし合わせ、時折うなずきながら受講している姿が印象的でした。

特別支援教育センター資料より

特性や行動の背景・要因を考える



【気になる児童の言動は、その子の“ほんの1部分”なんです】

【疑似体験(実際は動画):情報が有り過ぎると…】

木の本数を数えてください。ちょうちょうも飛んできます。途中出てくる計算式にもしっかり答えてください。

研修参加者は、計算に気を取られてしまい、肝心の木の本数を数えられず「こんなの無理無理！」という声が聞かれました。何らかの障がいをもつ子供には、大人の指示がこんなふうに聞こえたり、見えたりしているのですね。

渡邊指導主事からは、物事に集中できない子供には、「環境を整えてあげることが大切」という話がありました。目に入る情報の精選、指示は一度にたくさん出さないなど、子供にに応じて支援することが必要ですね。

【まとめ】

“困った子”ではなく“困っている子”
何に困っているのか、
その背景に寄り添ってあげましょう



【放課後子ども教室のスタッフの方々】



【講師:渡邊朋子指導主事】



【研修会場:只見振興センター】



【広場に鎮座する蒸気機関車】

